

国立大学法人名古屋工業大学の中期計画 新旧対照表

現 行	変 更 案	変更理由
2 教育に関する目標を達成するための措置 [3-1] 豊かな文化的視点と工学技術者が果たすべき責任をよく理解し、適切なコミュニケーション力や論理的思考力を持ち、複数の工学分野等の専門知識や能力を活用できる技術者を育成・輩出する。このため、文化的教育、倫理教育、工学デザイン教育等の多様な教育を拡充するとともに、学生個々の目標に基づく学習計画を具現化するよう、オンライン授業の整備等によって柔軟な学修を推進する。 2022年度開設の基幹工学教育課程においては「基幹技術の展開を具現化し、製造・施工現場で即戦力となる創製人材」を、また、既設の高度工学教育課程においては「工学分野を深く探究することのできる中核的技術開発人材」を、創造工学教育課程では「多面的視野と価値創造のための能力を持つ総合的工学人材」を育成する。	2 教育に関する目標を達成するための措置 [3-1] 同左	

<u>(新規)</u>	<u>[3-2] ものづくり産業の拠点が集積している中京地域では、AI技術の実社会応用のスキルを積んだ人材へのニーズが高まっている。このようなニーズに対応するため、2025年度より工学専攻の入学定員を30名増員するとともに、データサイエンス・AI分野の実践に関わる特別履修コースを新設し、AIに関わる基礎理論からシステム開発、制度設計から社会実装に至る多様な人材を持続的に育成する。</u>	・大学・高専機能強化支援事業の交付内定を受け、2025年度よりデータサイエンス・AI分野において、新たな人材育成プログラムを実施することで、さらなる教育の質向上を実現させるため。
【評価指標】 [3-1_1] 文化的視点や客観力・コミュニケーション力の育成に資するカリキュラムの運用 2024年度から 運用を開始 [3-1_2] 教育プログラムの見直し、運用 2023年度まで 見直し 2024年度から 運用を開始	【評価指標】 [3-1_1] 同左 [3-1_2] 同左	
<u>(新規)</u>	<u>[3-2_1] 2025年度に新設するデータサイエンス・AI分野の実践に関わる特別履修コースを修了する学生数</u> 2027年度3月末 期間累計60名	・2025年度より特別履修コースを新設するため、入学定員増30名×2か年度として60名の修了者を輩出することを目標値として設定する。

別表 学部、研究科等及び収容定員

学部	工学部 3, 7 6 0 人 (収容定員の総数) 3, 7 6 0 人
研究科等	工学研究科 <u>1, 5 0 0</u> 人 (収容定員の総数) 修士課程・博士前期課程 <u>1, 3 6 2</u> 人 博士後期課程 1 3 8 人

別表 学部、研究科等及び収容定員

学部	工学部 3, 7 6 0 人 (収容定員の総数) 3, 7 6 0 人
研究科等	工学研究科 <u>1, 5 6 0</u> 人 (収容定員の総数) 修士課程・博士前期課程 <u>1, 4 2 2</u> 人 博士後期課程 1 3 8 人

・大学・高専機能強化支援事業の実施に伴う
収容定員変更のため。